

ActVoiceオリジナルカード 音声作成方法

ActVoice2 付属のソフト「ActVoiceBlankCreator」を使用すると、オリジナルカードの音声を作成できます。

この専用ソフトは Windows Vista 以降で使用できます。MAC をご使用の方は下枠内の記載を参照ください。

ここでは専用ソフトのインストール方法から、音声の録音の仕方、音声を ActVoice2 に読み込ませる手順を説明します。

パソコン操作に慣れた方向けになりますが、専用ソフトを使わないでオリジナルカード用音声ファイルを作成することができます。

- 1) ご自分で別途録音した音（動物の鳴き声など）をオリジナルカード用に登録する。
- 2) MAC で作成する。

詳細は 6 ページ D. を参照してください。

《音声作成にあたり準備するもの》

- 1) パソコン Windows Vista 以降
- 2) 商品付属の CD-ROM
- 3) パソコン内蔵のマイクか、外付けのマイク
- 4) USB メモリ
- 5) ActVoice ブランクカード

目次

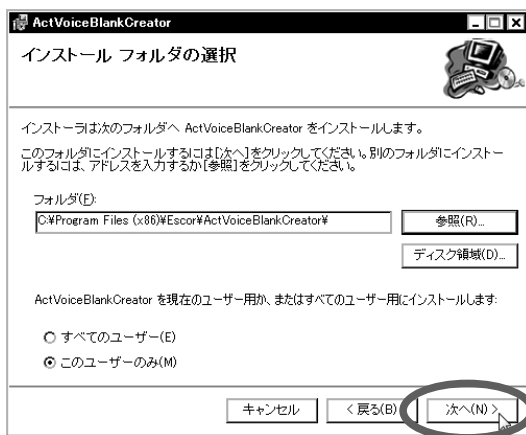
- | | |
|---------------------------------|---|
| A. 専用ソフトのインストール | 2 |
| B. 専用ソフトによる音声ファイル作成 | 4 |
| C. 専用ソフトで作成した音声ファイルを本体に読み込ませる方法 | 6 |
| D. 専用ソフトを使用しない音声ファイル作成方法 | 6 |

A. 専用ソフトのインストール

CD-ROM 中にある「ActVoiceBlankCreatorSetup」というファイルをダブルクリックすると下の画面が表示されます。



ここで「次へ」をクリックします。

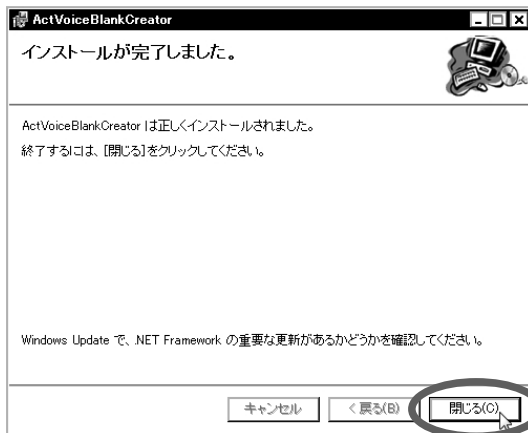


インストールフォルダ・ユーザーを選択して「次へ」をクリックします。

※選択方法が不明な場合は、そのまま構いません。



「次へ」をクリックします。



「閉じる」をクリックします。

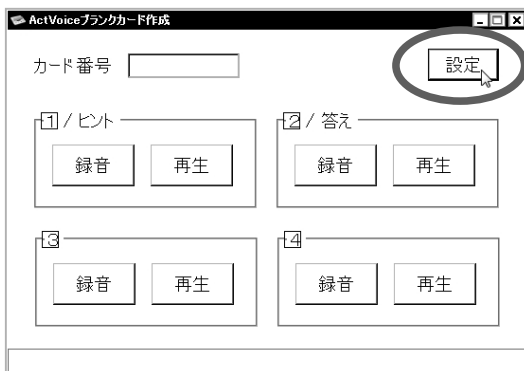
なおインストールの途中で「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されて、次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますかとメッセージが出たら「はい」をクリックします。

以上でインストールが完了しました。

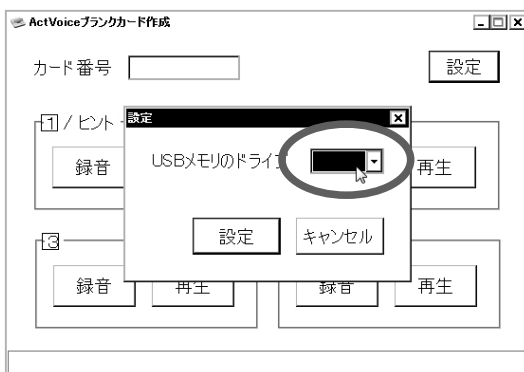
インストールが完了するとデスクトップ画面に「ActVoice ブランクカード作成」というアイコンが作成されます。

B. 専用ソフトによる音声ファイル作成

- 1) USB メモリをパソコンのコネクタに接続してください。
外付けマイクを使用する場合はマイクも接続してください。
- 2) 「ActVoice ブランクカード作成」アイコンをダブルクリックして起動し、初期画面から右上の設定ボタンをクリックします。



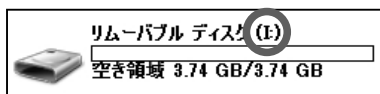
- 3) 設定画面で USB メモリのドライブを指定して「設定」ボタンをクリックします。



ドライブの場所がわからない場合は 4) をご覧下さい。
ドライブの指定方法がわかる場合は 5) へ進んで下さい。

4) 「USB メモリのドライブ」の探し方

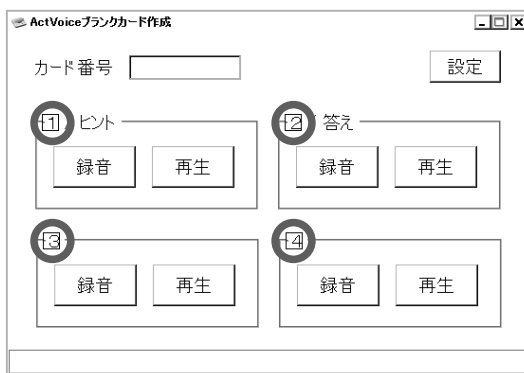
デスクトップ画面で「Windows」キーを押しながら、キーボードの「E」キーを押します。「リムーバブルディスク」右の括弧内の英字が 4 ページ 3) の「USB メモリのドライブ」になります。



5) 画面左上のカード番号に、ブランクカード裏面のバーコード下の番号を入力します。番号は前後の「a」は入れません。例:「a900001a」の場合、「900001」と入力します。

6) ①/ ヒント音声を作成します。「録音」ボタンを押してパソコンのマイクから①/ ヒントを録音します。録音終了は「停止」ボタンを押してください。確認は「再生」ボタンでできます。また、新規の音声を上書きする時は、再度「録音」ボタンを押してマイクから録音します。

7) ②/ 答えも同様に録音します。録音した音声は USB メモリに保存されています。
※ 4 コマ絵カードのように 4 種類の音声を録音する場合は ①～④を使います。



8) 起動中の「ActVoice ブランクカード作成」を、右上の [X] ボタンを押して終了します。

これでブランクカードの音声ファイルが作成できました。

C. 専用ソフトで作成した音声ファイルを本体に読み込ませる方法

- 1) 本体の電源が切れている状態で USB メモリを本体左側面に差し込みます。
- 2) 本体の電源を入れ起動させると、自動で USB メモリの中のブランクカード用音声
が本体内部メモリーに読み込まれます。
- 3) 本体への読み込み中は赤ランプが点滅します。終了時赤ランプが長めに点灯した
後消灯します。読み込む量により時間は異なります。
- 4) 読み込みが完了したら、電源を切り USB メモリを抜いて本体を再起動します。
以上で完了です。オリジナルカードが使用できます。

D. 専用ソフトを使用しない音声ファイル作成方法

パソコン操作に慣れた方向けになりますが、オリジナルカード用の音声として独自に
録音した音を使いたい場合や MAC で作成する方法をご紹介します。

作成方法の原則は、Windows でも MAC でも同様です。

- 1) ActVoice2 に登録できる音声ファイルは wav 形式です。
- 2) USB メモリーに以下の基準で、フォルダとファイル名を付け、wav ファイルを保
存します。
system/voice/00*****/○○○.wav
※フォルダ「00*****」の「*****」はバーコード番号です。
6 桁のバーコード番号の頭に数字の「00」を付け 8 桁にします。
1 枚のカードに対し 1 つのフォルダが必要です。

3) ファイル名 (○○○.wav) の付け方

「1 / ヒント」 ボタン対応音声 a_○○.wav

「2 / 答え」 ボタン対応音声 b_○○.wav

※○○の部分は任意の文字を入れます。○○が無くても動作します。

例：バーコード番号が「a900001a」のカードで、1 ボタンと 2 ボタン両方に音
声を登録する場合のフォルダとファイル名。

system/voice/00900001/a_○○.wav b_○○.wav

- 4) オプションのリモコンを利用し、4種類のボタンを使用したい場合
ファイル名の最初を以下のようにします。

リモコンの「3」ボタン c_○○.wav

〃 「4」ボタン d_○○.wav

- 5) 1つのボタンに「標準音声」と「ゆっくり音声」のように2種類の音声を登録したい場合（この作業はソフト「ActVoiceBlankCreator」ではできません）
「標準音声」と「ゆっくり音声」の設定カードによる区分はデフォルトの設定です。
この区分以外に、「男の声」「女の声」というように読み替えて区分する事も可能です。

デフォルト音声区分のファイル名

・標準音声 a_1_○○.wav b_1_○○.wav

・ゆっくり音声 a_2_○○.wav b_2_○○.wav

a_とb_の後ろに「1_」か「2_」を付けて区分します。

1つのボタンに1つの音声で良い場合は、数字は付けません。

- 6) USBメモリーに記録したwavファイルをActVoice2本体に読み込ませます。
読み込ませる方法は本書6ページ「C.」を参照ください。

メールでのお問い合わせは…

support@escor.co.jp

受付時間 24 時間

対応時間 平日 10:00 ~ 17:00

(土日祝日・弊社休業日を除く)

電話でのお問い合わせは…

0438-30-3095

受付時間 平日 10:00 ~ 17:00

(土日祝日・弊社休業日を除く)



〒292-0825 千葉県木更津市畑沢 2-36-3

<http://escor.co.jp/>